修理を依頼されるときは～出張修理

● **「困ったときは」**に従って調べていただき、なお異常があるときは電源を切り、必ず電源プラグを抜き、バッテリーパックをはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上デジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	19P2
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL（　　）　　－

廃棄時にご注意願います

●家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

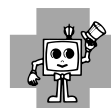
長年ご使用のテレビの点検をぜひ！　熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか?

●電源を入れても映像や音が出ない。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源を切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックをはずしてから、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

株式会社 **東芝**
デジタルプロダクツ&サービス社
〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1
*所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ⓉPX1D00008120

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

REGZA

地上デジタルハイビジョン液晶テレビ

形名 19P2

取扱説明書

はじめに
設置と準備
テレビを見る
機能設定
接続
その他

■ 最初に「安全上のご注意」をお読みください。
■ 映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときは」をご覧ください。
■ スタンドの取り付け方法は 22 ページをご覧ください。

● このたびは東芝地上デジタルハイビジョン液晶テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
● お求めの地上デジタルハイビジョン液晶テレビを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
● お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
● 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、たいせつに保管してください。
● 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

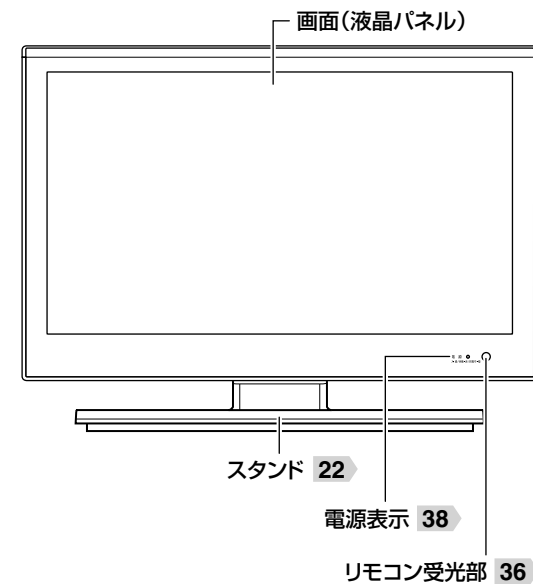
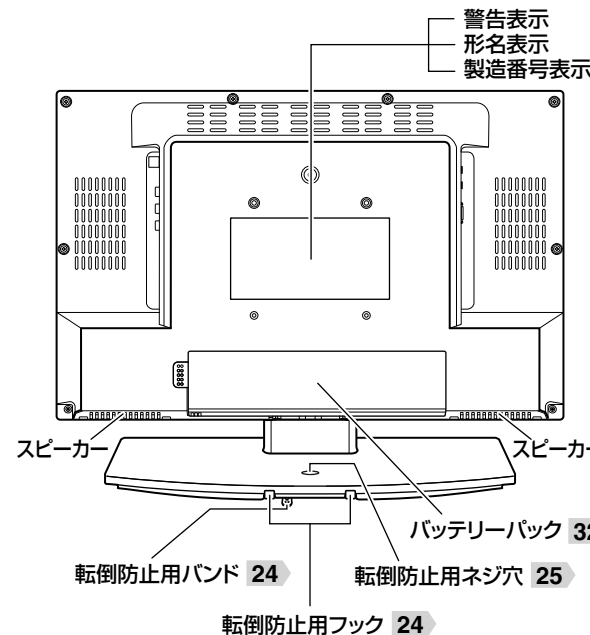
各部のなまえ

本書の見かた・使いかた

このページを開いて使用すると便利です。

操作方法は、特にことわりのないかぎり、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークや説明が同じであれば使いかたも同じです。

前面

くわしくは、　内ページをご覧ください。

背面

警告表示
形名表示
製造番号表示
スピーカー
スピーカー
バッテリーパック 32
転倒防止用バンド 24
転倒防止用ネジ穴 25
転倒防止用フック 24

リモコン

入力切換ボタン 39 41 59 60 61
- テレビ、外部機器からの映像を切り換えます。

ワンセグボタン 41
- ワンセグ放送を見るときに使います。

地デジボタン 41
- 地上デジタル放送を見るときに使います。

消音ボタン 41

チャンネル ∧・∨ ボタン 41
- チャンネルを順番に選びます。

映像メニューボタン 43

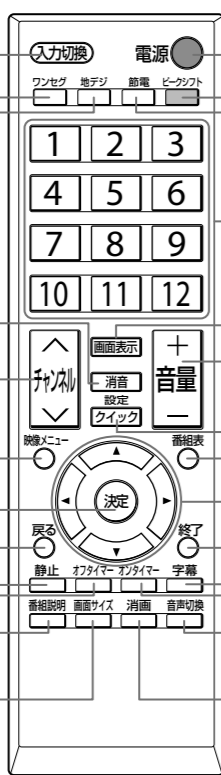
決定ボタン 39 42 50

戻るボタン 42 43 50

静止ボタン 45

オフタイマーボタン 46

番組説明ボタン 43

画面サイズボタン 44

電源ボタン 38
- 電源の「入」、「切(待機)」を切り換えます。

ピークシフトボタン 47
- コンセントとバッテリーパックでの動作を切り換えます。

節電ボタン 47
- 節電モードの設定をします。

番号ボタン 41 42
- テレビの選局時に使います。
- 数字の入力が必要なときに使います。

画面表示ボタン 44

音量ボタン 41
- 音量を調節します。

クイックボタン 40 43 50

番組表ボタン 42

方向ボタン 39 50

終了ボタン 50

字幕ボタン 43

オンタイマーボタン 46

音声切換ボタン 43

消画ボタン 45

本体左側面

本体右側面

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

www.toshiba.co.jp/regza

※左記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp）をご参照ください。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」【受付時間】 365日／9:00~20:00

メモ 形名		製造番号								

形名と製造番号は、保証書および本体背面に表示されています。

【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）

フリーダイヤル **0120-97-9674**

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、**03-6830-1048**（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）

ナビダイヤル **0570-05-5100**

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）

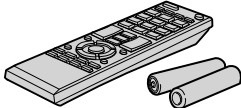
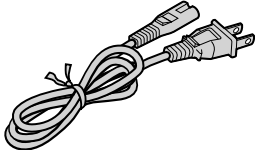
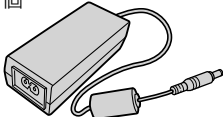
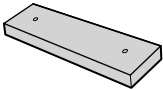
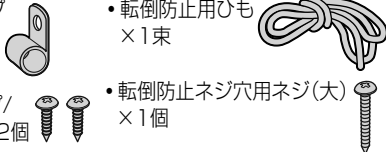
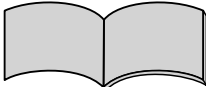
03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。 販売店にご相談ができない場合は、上記の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

保証書（別添）

● 保証書は、必ず「お買い上げ日・ 販売店名」 等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、 保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

● 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引きとらせていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

付属品

本機には以下の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン×1個
（CT-90387）
単四形乾電池×２個

電源コード*×1本

ACアダプター*
（HDAD36W101-AB）
×1個

バッテリーパック*×1個
（リチウムイオンバッテリーパック
SD-PBP120JD-1）

転倒防止用品

- 転倒防止用クリップ
  ×1個

- 転倒防止用ひも
  ×1束

- 転倒防止用クリップ/
  バンド用ネジ(小)×2個
- 転倒防止ネジ穴用ネジ(大)
  ×1個

スタンド1式

- スタンド×1個
- スタンド取付
  金具×1個
- ワッシャー付ネジ×3個
  (取付金具固定用ネジ)
- ネジ×4個
  (テレビ本体固定用ネジ)

B-CASカード×1枚

B-CASカードはテレビ本体の背面に貼付された袋の中にあります。

※B-CASカードは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから供給されたものを同梱しています。

ワンセグ用アンテナ×1本

取扱説明書（本書）×1冊

*ご注意： ACアダプター、電源コード、バッテリーパックは、付属のもの以外は使用しないでください。また、これらの付属品を本機以外に使用しないでください。

もくじ

はじめに　お使いになる前に必ずお読みください。

設置と準備

テレビを見る

機能設定

接続

その他

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠危険	"取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと"を示します。
⚠警告	"取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること"を示します。
⚠注意	"取扱いを誤った場合、人が軽傷(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること"を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例

図記号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	"⃠"は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	"●"は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	"△"は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき

⚠ 警告

■ 異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりした場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックをはずす

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。安全を確認してからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックをはずす

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックをはずす

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックをはずす

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 電源プラグが発熱したり、コードが傷んだりしたときは、すぐに電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜き、バッテリーパックをはずす

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードや電源プラグが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

使用するとき

⚠ 警告

■ 屋外では使用しない

雨や雪などによる水ぬれは火災・感電の原因となります。
転倒・落下防止処置ができない場所で使用すると、テレビの転倒・落下によってけがの原因となります。

■修理・改造・分解はしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 内部に異物を入れない

異物挿入禁止

通風孔などからステープル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する

指　示

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注意

■ テレビ台を設置するときは、

禁　止

- 不安定な台を使わない
- 片寄った載せかたをしない
- テレビ台のトビラを開けたままにしない

倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ ヘッドホーンやイヤホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎない

禁　止

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 電源を入れるときには音量を最小にする

指　示

電源を入れるときには、音量を最小にしておき、使いはじめてから音量を調節してください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ テレビやテレビ台にぶら下がったり、上に乗ったりしない

落ちたり、倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ リモコンに使用している乾電池は、

- 指定以外の乾電池は使用しない
- 極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない
- 火や直射日光などの過激な熱にさらさない
- 表示されている［使用推奨期限］の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

設置するとき

⚠ 警告

■ 屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ 上にものを置いたり、ペットをのせたりしない

上載せ禁止

●金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ ぐらつく台の上、傾いた所や車の中など、不安定な場所や振動のある場所に置かない

禁　止

テレビが落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。

■ 振動のある場所に置かない

振動禁止

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

■ 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する

指　示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

⚠ 注意

■ 温度の高い場所に置かない

禁　止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

禁　止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 転倒・落下防止の処置をする

転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなることがあります。

転倒防止のしかたは 24、25 ページをご覧ください。

■ 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 壁に押し付けないでください。（10cm 以上の間隔をあける）
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、

- **包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、2人以上で取り扱う**
  ひとりで取り扱うと、からだを痛めたり、テレビを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
- **離れた場所に移動するときは電源プラグ・電源入力端子・アンテナ線・機器との接続線および転倒防止をはずす**
  はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。
- **車（キャスター）付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除し、テレビを支えながら、テレビ台を押す**
  テレビを押したり、テレビを支えていなかったりすると、テレビが落下してけがの原因となることがあります。
- **衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う**
  テレビが破損してけがの原因となることがあります。

■ 車(キャスター)付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックをはずす

感電の原因となることがあります。
お手入れについては、68 ページをご覧ください。

ACアダプターと電源コードについて

⚠ 警告

■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

● 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
● 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
● 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

■ ACアダプターを分解・改造・修理しない

火災・感電の原因となります。

■ 電源コードは

●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり(熱器具に近づけるなど)しない
●引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電の原因となります。

■ 時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除する

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
(電源プラグは待機状態のときに抜いてください。)

■ 通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない

火災、故障の原因となることがあります。

■ 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

⚠注意

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ ACアダプターと電源コードは、付属のものを使用する

指定以外のACアダプター、電源コードを使用すると、火災・故障の原因となります。付属のACアダプターと電源コードは国内専用です。

■ 旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックをはずす

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックをはずしてください。

■ 付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しない

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

バッテリーパックについて

⚠危険

■ 充電中や使用中にバッテリーパックが異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりした場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックが冷えたのを確認してからバッテリーパックをはずす

そのまま使用すると破裂・火災の原因となります。
常温に戻ったことを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 指定されたバッテリーパックを使用する

指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。

■ バッテリーパックにクギを刺したり、カナヅチでたたいたり、踏みつけたりしない

電極がショートすると発熱、破裂、発火の原因となります。

■ バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入したりしない

破裂・火災の原因となります。

■ バッテリーパックの電極（＋端子と－端子）を針金などの金属で接続しない
また、金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに持ち運んだり、保管しない

電極がショートすると、発熱、破裂、発火の原因となります。
バッテリーパックを持ち運ぶときや保管するときは、電極が金属に触れないように、ビニールなどで包んでください。

■ 不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へ持ち込む
お持ち込みになるときは、＋端子、－端子の電極に絶縁テープを貼る

指　示

電極がショートすると、破裂、発火のおそれがあります。

■ バッテリーパックを指定された充電方法以外で充電しない

禁　止

破裂、発火の原因となります。

⚠注意

■ バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認する

指　示

正しく取り付けられていないと、移動するときなどにバッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

■ バッテリーパックは、乳幼児の手の届かないところで保管・使用する

指　示

■ バッテリーパックからもれた液が、皮ふや衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流す

指　示

もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

取扱いに関すること

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
- 移動させるとき
  引っ越しなど遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。(番組情報を取得するためです)
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じることがあります。
  - ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
  - DVDやビデオなどの音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。

置き場所に関すること

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。

お手入れに関すること

■ **1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください。**

本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、本機に記憶されたお客様の登録情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 設定した内容などを、初期化することをおすすめします。(56 ページ)
- B-CAS(ビーキャス)カードの取扱いなどについては、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。
  お問合せ先:
  カスタマーセンター　TEL.0570-000-250
- **廃棄時にご注意願います**
  家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

設置と準備

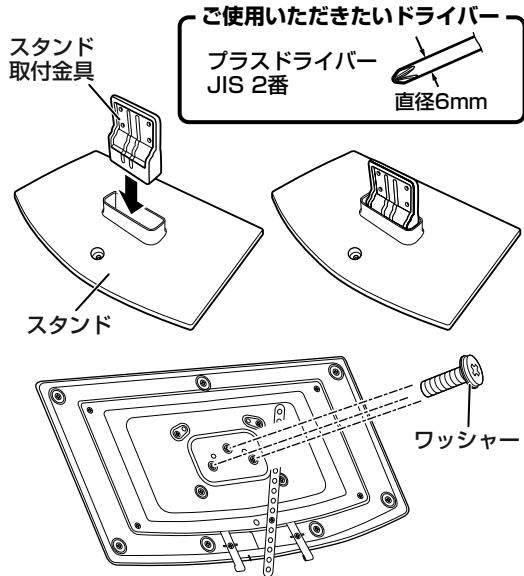
設置のしかたとご使用になる前の準備です。

- スタンドを取り付ける
- テレビを設置する
- B-CAS（ビーキャス）カードを入れる
- アンテナの接続
- バッテリーパックを使う
- ACアダプターの接続
- リモコンの準備

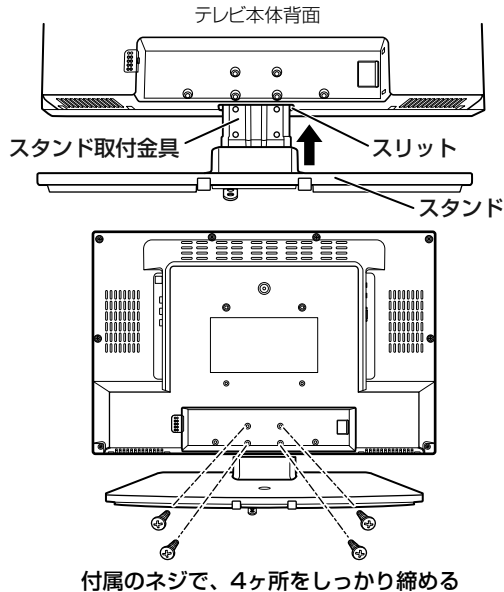
スタンドを取り付ける

テレビ本体とスタンドは、分かれた状態で同梱されています。以下に従って正しく取り付けてください。

● テレビの画面に力を加えたり、物をぶつけたりしないようにご注意ください。液晶パネルが破損するおそれがあります。

1 スタンドにスタンド取付金具を図のように入れ、底面から取付金具固定用ネジ（ワッシャー付きネジ）で３ヶ所固定する

付属のワッシャー付きネジで、3ヶ所をしっかり締める

※スタンドに保護フィルムがついている場合は、保護フィルムを取りはずしてからスタンドを取り付けてください。

2 スタンド取付金具を本体下部のスリットに差し込み、背面からテレビ本体固定ネジで４ヶ所固定する

付属のネジで、4ヶ所をしっかり締める

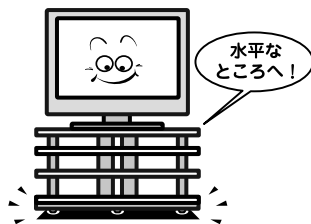
お知らせ

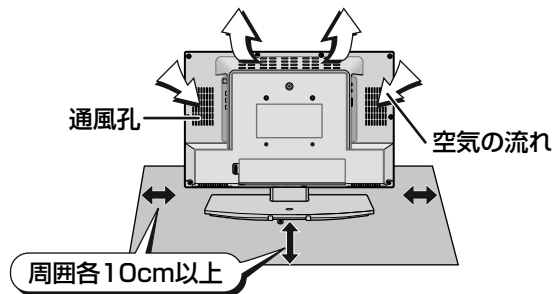
• バッテリーパックの取り付けは、32 ページをご覧ください。

■本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する
万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

■転倒・落下防止の処置をする
地震などでのテレビの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

正しい置きかた

■丈夫で水平な安定した所に設置してください

■テレビ台を使用する場合
● テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

■周囲からはなして置いてください
● 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。

転倒・落下防止のしかた

● 付属のクリップ、ネジ、ひもを使って転倒・落下防止の処置をしてください。
付属品以外のクリップ、ネジ、ひもは使わないでください。

● 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

■ 壁または柱などに固定するとき

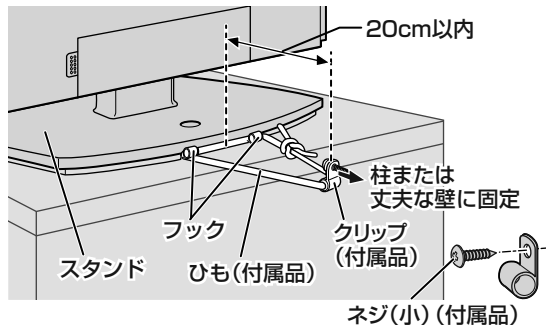
● スタンド背面のフックとクリップ(付属品)を使用し、確実に支持できる壁または柱などを選び、ひも(付属品)で固定してください。

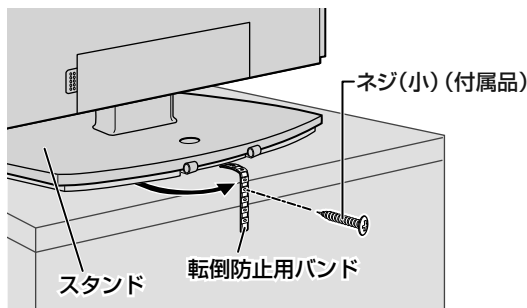
● クリップはスタンド背面のフックと同じくらいの高さの場所にネジ(小)(付属品)で取り付けてください。

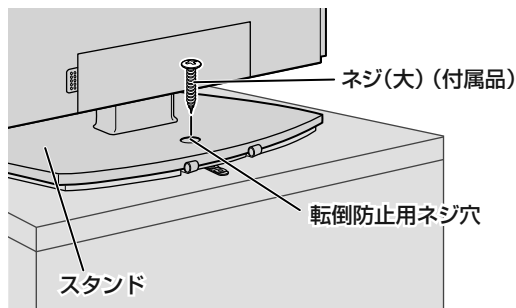
※ 移動するときは、ひもをはずしてください。

■ 転倒防止用バンドを使用して固定するとき

● スタンド底面の転倒防止用バンドを後方に回転させて、設置する台の確実に支持できる背面にネジ(小)(付属品)で固定してください。

※ 後方には倒れることがあります。固定後は台を壁などに近づけて設置し、小さなお子様がはいれないようにしてください。

お願い

• 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりする場合があります。相互に影響しない位置に設置してください。

■ 転倒防止用ネジ穴を使用して固定するとき

● 転倒防止用ネジ穴を使ってネジ(大)(付属品)でスタンドを設置面にしっかりと固定します。
● 材質のしっかりした、十分に厚い場所に固定してください。

※ 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因となります。

B-CAS（ビーキャス）カードを入れる

本機に同梱されているB-CASカードは、地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。

B-CASカードは常時、本機に挿入しておいてください。B-CASカードの取扱いについて詳しくは、カードが貼ってある説明書をご覧ください。説明書は、よくお読みのうえ、たいせつに保管してください。

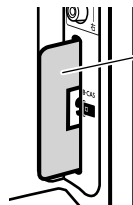
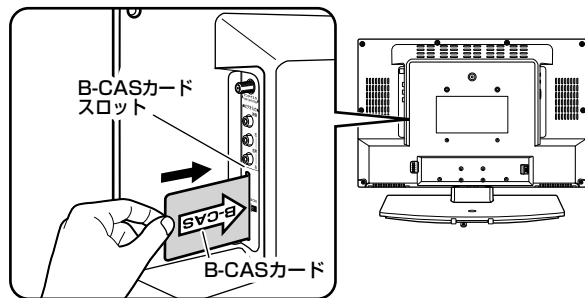
※ お買い上げ時、B-CASカードはテレビ本体の背面に貼付された袋の中に入っています。

お知らせ

- B-CASカードのカードの破損、紛失、盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要になったなどの場合は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

B-CAS（ビーキャス）カードの入れかた

B-CASカードを抜き差しするときは、本機の電源を切って、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックをはずしてください。

B-CASカードの絵柄面を本体背面のB-CASスロットにイラストの向きに合わせて、差し込みます。

B-CASカードはスロットにすべてかくれた状態にはなりません。
ゆっくり差し込み、B-CASカードが止まる位置まで差し込みます。

取り出すときは、B-CASカードをそのまま引き抜きます。

アンテナの接続

本機は地上デジタルチューナーを内蔵しています。
本機で地上デジタル放送とワンセグ放送を受信できます。
地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送受信用アンテナ(UHFアンテナ)を本機に接続してください。(BS・110度CSデジタル放送を受信することはできません。)

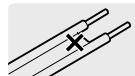
⚠注意

- **アンテナを接続するときは、必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックをはずす**
- **電源プラグはすべての接続が終わってから、コンセントに接続する**
- **同軸ケーブル両端のコネクターのピンが曲がっていないか、確認する**
  曲がったままで接続すると、ショートすることがあります。

お知らせ

- UHFアンテナがすでに設置されていても、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向調整が必要になる場合があります。
  ※ アンテナ工事や調整には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- UHFアンテナ線は同軸ケーブルで、F型コネクターがネジ式のアンテナ線をおすすめします。

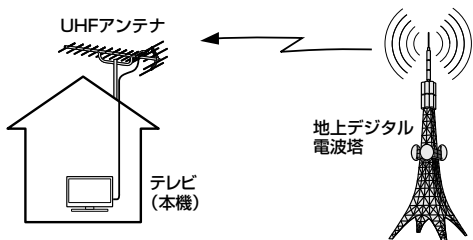
差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、ときどき映らなくなったりすることがあります。

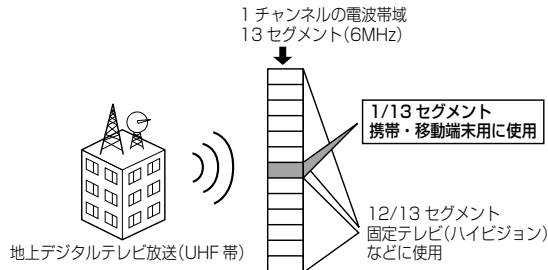
ネジ式の例
差込式の例
※ 平行フィーダー線は受信障害の原因になることがあるので使用しないでください。

平行フィーダー線
- アンテナ線のF型コネクターは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本体内部が破損するおそれがあります。
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。
- UHFアンテナは定期的な点検・交換をおすすめします。アンテナの設置場所は、屋外のため痛みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送は一般的にUHFアンテナで受信しますが、CATV(ケーブルテレビ)で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものをお選びください。

地上デジタル放送とは

2011年7月24日をもって、従来の地上アナログ放送は終了し、地上テレビ放送は地上デジタル放送に切り換わります（岩手県、宮城県、福島県を除く）。地上デジタル放送は従来のアナログ放送に比べて、ゴーストのないクリアな映像を実現するだけでなく、電子番組表の表示や字幕の表示といった新しいサービスも提供しています。

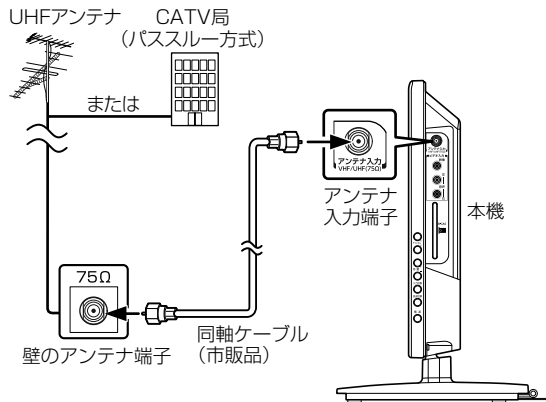
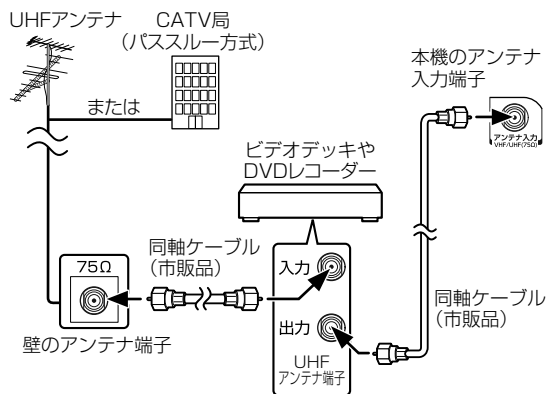
＊本機は「BSデジタル放送」や「110度CSデジタル放送」など衛星放送の受信には対応していません。

＊本機は地上デジタル放送の「データ放送」や「双方向サービス」には対応していません。

ワンセグ放送とは

ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル（6MHz）の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。

ワンセグ放送の主な特徴

	ワンセグ放送
受信状態	地上アナログ放送よりも安定して電波を受信できます。
画質	携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなったりします。
受信地域	放送が開始されたばかりの時は、受信できる地域が限られます。

- 地上デジタルテレビ放送は、2003年12月から関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で開始され、2006年12月には全県庁の所在地を中心とした一部の地域で本格的に放送が開始されました。ワンセグは、2006年4月に開始され、地上デジタルテレビの放送地域拡大により順次受信可能なエリアが拡大される予定です。ただし、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。
- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。
- 放送波で放送されるワンセグの映像・音声・データ放送の受信はお申し込みが不要な無料のサービスです。
- 「ワンセグ」サービスの詳細および受信可能なエリアについては、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp

地上デジタル放送用アンテナ（UHFアンテナ）を接続する

DVDレコーダーなどを経由したアンテナの接続

お知らせ

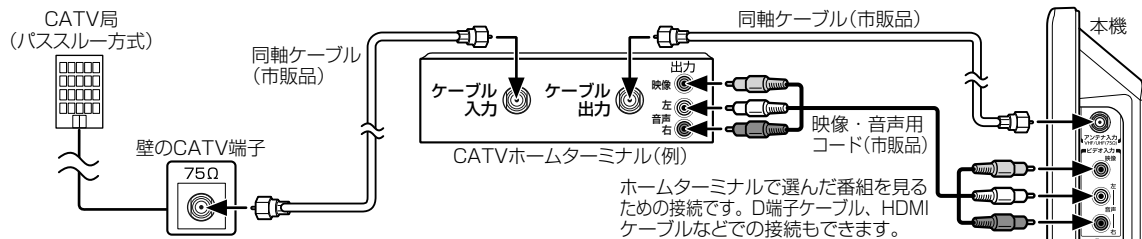
- 地上デジタル放送を受信するためには、ご自宅の建物に地上デジタル放送を受信可能なUHFアンテナが設置されているか、ケーブルテレビ局が「CATVパススルー方式」で地上デジタル放送を再送信していることが必要です。
- １つのアンテナ端子に複数のテレビを接続する場合は、市販の分波器をご利用ください。
- 次の場所や地域では受信できない場合があります。
  - 電波塔から遠い場所、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所、室内アンテナでの受信など電波が弱いまたは不安定または届かない場合。
  - 妨害波や電磁雑音が多い場合。
  - 地上デジタル放送が始まっていない場合。
- 電波が弱い場所では増幅器（ブースター）を利用すると改善する場合があります。放送局の近くなど、電波が強すぎる場合は減衰器（アッテネーター）をご利用ください。

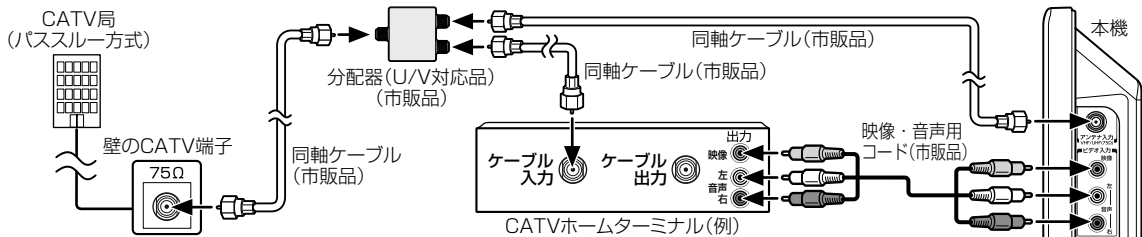
アンテナの接続(つづき)

ホームターミナルを使用しない場合は、壁のCATV端子と本機のアンテナ入力端子をアンテナ線で直接接続してください。

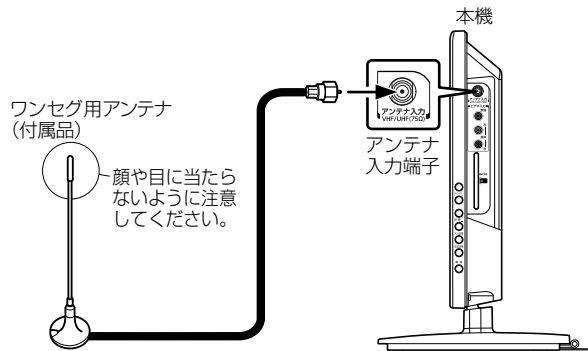
ケーブルテレビ放送(CATV)をホームターミナルで見る場合

- ケーブルテレビ局から地上デジタル放送の電波がパススルー方式で再送信されている場合、ホームターミナルのケーブル出力端子(端子名は例です)と本機のVHF/UHFアンテナ入力端子を接続すれば地上デジタル放送が見られます。
- ケーブルテレビ局が独自の方式で送信している放送を見るには、ホームターミナルの映像・音声出力端子などと本機のビデオ入力端子を接続します。(視聴する番組は、ホームターミナルで選びます)

※ **本機のビデオ入力端子、D4映像入力端子やHDMI入力端子に接続して見る番組では、本機の番組表機能などは使用できません。**

■ ホームターミナルから地上デジタル放送の電波が出ないとき

- ケーブル出力端子に地上デジタル放送の再送信電波が出力されないホームターミナルの場合は、UHFに対応した市販の分波器を使用して、以下のように接続します。

ワンセグ用アンテナを接続する

以下のような場合に、ワンセグ放送を視聴するときは、ワンセグ用アンテナを使用してください。

– 壁のアンテナ端子がなく、地上デジタル放送を受信できないときなどにワンセグ用アンテナを接続します。
– アンテナに増幅器（ブースター）を使用している場合、停電が発生すると地上デジタル放送が受信できなくなります。その場合にワンセグ用アンテナを接続します。

お知らせ

- 地域・場所によっては受信状態が悪くなったり、全く受信できなくなる場合があります。
- ワンセグ放送は、携帯機器用の放送のため、地上デジタル放送よりも画質が粗くなります。

ご注意！

- 本機以外のテレビなどに接続しないでください。故障の原因となります。

バッテリーパックを使う

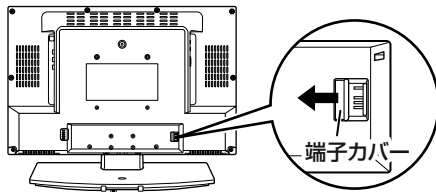
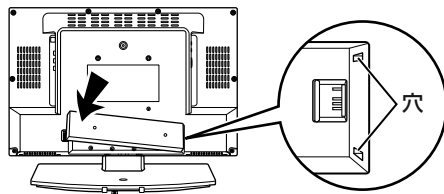
⚠危険

- **指定されたバッテリーパックを使用する**
  指定以外のバッテリーパックを使用すると、火災・故障の原因となります。
- **バッテリーパックを加熱・分解・ショートしたり、火の中へ投入しない**
  破裂・火災の原因となります。
- **バッテリーパックは正しく取り付ける**
  バッテリーパックが本体にしっかりと取り付けられているか確認すること。バッテリーパックがはずれ落ちて、けがの原因となります。

バッテリーパックの取り付けかた

1 本機の電源を切る

2 ACアダプターや外部機器などの接続コードを、すべて本体からはずす

3 本体背面の端子カバーを最後まであける

4 バッテリーパックのツメを本体の2ヶ所の穴に差し込み、矢印の方向にカチッと音がするまではめ込む

お願い

- 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜き、本機からバッテリーパックをはずしてください。

お知らせ

- ACアダプターとバッテリーパックが付いた状態でも、本機をご使用いただくことができます。

バッテリーパックの充電

バッテリーパックは充電してお使いください。（電池残量が少なくなると、画面に表示されるバッテリー表示［ ］が点滅します。）特に、はじめてお使いになる前には、必ず充電を済ませてください。

1 本機にバッテリーパックを取り付ける

2 本機にACアダプターと電源コードを接続してから、電源プラグをコンセントへ接続する（35 ページ）

充電が始まり、電源表示がオレンジ色に点灯します。充電が終了すると、電源表示が赤色に点灯します。

- バッテリーパックが満充電に近い状態では充電は始まらず、電源表示が赤色に点灯します。

お知らせ

- 本機の電源が切れた状態（待機状態）で充電が始まります。本機の電源を入れたまま（電源表示が緑色に点灯）では、充電できません。（38 ページ）

バッテリーパックの充電時間の目安	約５時間

- あくまでも目安です。バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

バッテリーパック使用時の連続視聴時間の目安	節電モード［オン］	節電モード［オフ］
	最大約４時間	最大約３時間

上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
（25℃、新品のバッテリーパック使用時、映像メニュー［標準］、音量レベル25の条件下。映像メニューは 43 ページ、節電モードの設定は、47 ページをご覧ください）

- バッテリーパックの状態、使用条件、周囲の温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると、連続再生時間が短くなります。

お知らせ

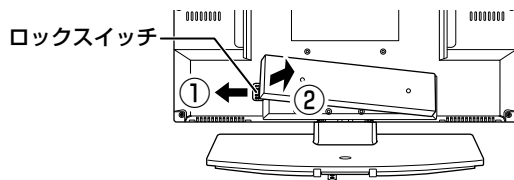
- 充電は周囲の温度が5℃～35℃で行ってください。
- 電源表示がオレンジ色に点灯している間（充電中）は、ACアダプターと電源プラグを抜かないでください。
- 充電中や使用中はバッテリーパックがあたたかくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーパックでの動作時は、壁コンセントからの電源での動作時よりも画面が暗くなります。

バッテリーパックを使う（つづき）

バッテリーパックのはずしかた

1 本体またはリモコンの「電源」を押し、電源を切る

2 ACアダプターや外部機器などの接続コードを、すべて本体からはずす

3 バッテリーパックのロックスイッチを、①の矢印の方向にスライドさせて、バッテリーパックを②の矢印の方向に取りはずす

4 本体の端子カバーをしめる

お願い

- 端子カバーは、針金などの金属の接触によるショートから電極を保護するためにも、必ずしめてください。
- 本機の動作中（電源表示が点灯中）は、バッテリーパックを取りはずさないでください。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、新しいバッテリーパック（オプション品）をお求めください。お求めについては、お買い上げの販売店または 73 ページに記載の「東芝テレビご相談センター」にお問い合わせください。（形名：SD-PBP120JD-1）

■ バッテリーパックの膨らみについて

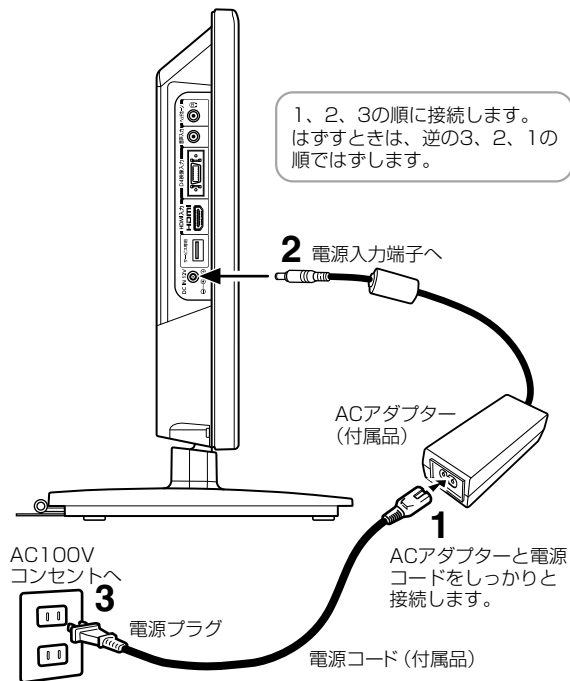
バッテリーパックは消耗に伴い、まれに膨らむ場合があります。これはリチウムイオン電池の特性です。使用していて膨らみが見られたら、早めに「東芝テレビご相談センター」にご連絡ください。バッテリーは消耗品です。

■ バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。

以下より、リサイクル協力店の検索を行うと、全国各地のリサイクル協力店が簡単に見つかります。
一般社団法人JBRC　ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

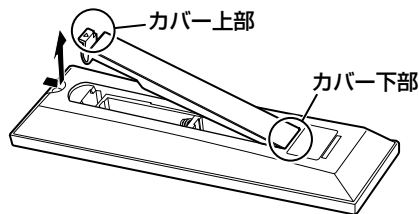
ACアダプターの接続

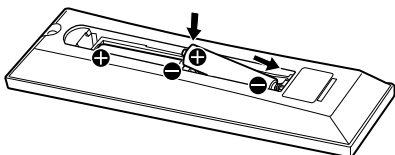
室内のコンセントへは、付属のACアダプターと電源コードを、以下のように接続してお使いください。

⚠ 警告

- **電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続する**
  交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
  感電の原因となることがあります。
- **付属のACアダプターと電源コードを使用する**
  指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
  通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
  持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、温度が下がってから行ってください。

ご注意

- 付属のACアダプターと電源コードは、本製品以外には使用しないでください。

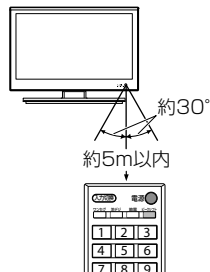
1 カバーをはずす

カバーをはずすときは、カバー上部の ▼ 部分を▼の方向に押しながら、すくい上げます。

2 乾電池を入れる

- 単四形乾電池(R03またはLR03)を2個使用します。
- 乾電池の+、−を確かめてください。

3 カバーを閉める

カバーを閉めるときは、カバー下部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んで、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。

リモコンの操作範囲

画面に対し垂直に向けて、本体から以下の範囲内で操作してください。

距離：リモコン受光部正面から約5m以内

角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内

リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、乾電池をすべて新しいものと交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を同時に使わないでください。
- 指定以外の乾電池は使用しないでください。
- 表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないでください。
- 使用済みの乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

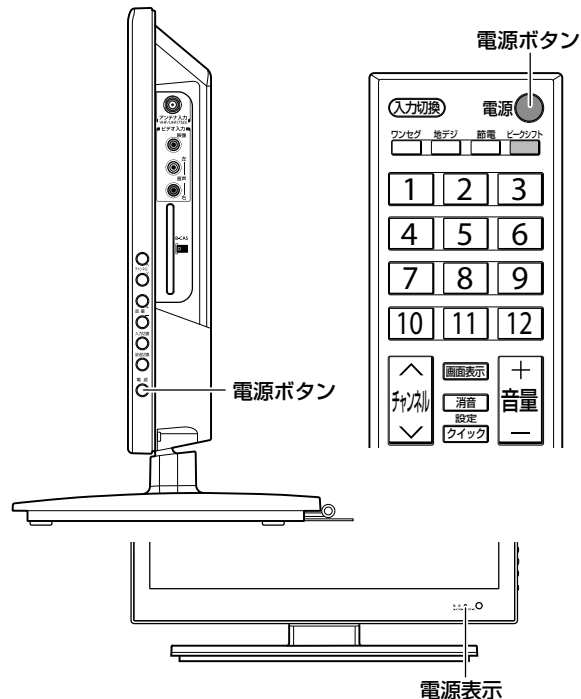
テレビを見る

- 電源を入れる／切る
- チャンネルを設定する
- 放送を見る
- 設定した時間後にテレビをつける／切る
（オンタイマー／オフタイマー）
- バッテリーパックでテレビを見る／
節電モードを設定する
- ソフトウェアのバージョンアップ

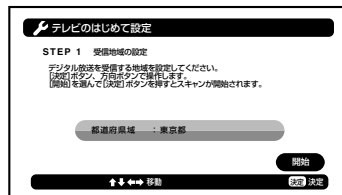
電源を入れる／切る

本体またはリモコンの「電源」を押す

電源がはいり、本体の電源表示が緑色に点灯します。

- 電源を切るときには、もう一度「電源」を押します。

電源表示	電源の状態
緑	入
赤	切（待機状態）/ バッテリーパックが満充電の状態
オレンジ色	バッテリーパックの充電中
消灯	電源プラグを抜いた状態で、バッテリーパックの残量がなくなったとき

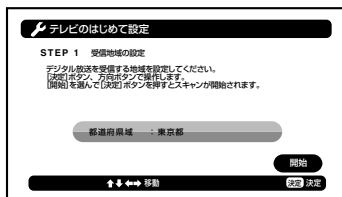
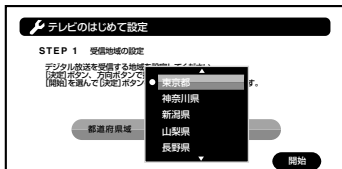
- 本機の電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。（バッテリーパック装着時にバッテリー残量がある場合は、電源表示が赤色で点灯しています。）

お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、以下の画面が表示されます。

「チャンネルを設定する（チャンネルスキャン）」へ進んでください。

チャンネルを設定する（チャンネルスキャン）

テレビ放送を見るには、受信できる放送を本機に設定する必要があります。お買い上げ時は未設定です。以下の手順でチャンネルを設定してお使いください。一度設定すると、再設定しないかぎり、電源を切っても記憶されています。

はじめて本機の電源を入れたときは、［テレビのはじめて設定］の画面が表示されています。

1 ［都道府県域］が選ばれている状態で「**決定**」を押す

2 お住まいの地方を方向ボタン（▲／▼）で選び、「**決定**」を押す

3 ［開始］を方向ボタン（▶）で選び、「**決定**」を押す

受信できる放送（地上デジタル放送／ワンセグ放送）のスキャンが始まります。

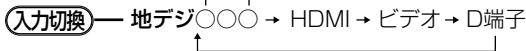
終了までしばらくかかります。

正常に終了すると、受信中の放送が映ります。

テレビ視聴の準備は完了です。「放送を見る」（41ページ）に従って操作してください。

● **テレビを見るときは、「入力切換」をくり返し押して［地デジ］（ワンセグ放送受信時は［ワンセグ］）モードに切り換えるか、番号ボタンを押してテレビを選局してください。**

現在選ばれているチャンネル番号

（入力切換）— **地デジ**○○○ → HDMI → ビデオ → D端子

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12

- 「入力切換」でモードを選択後、「決定」を押すと、すぐにモードの切り換えができます。

チャンネルを設定する（つづき）

リモコンで表示されるチャンネルを変える

ふだんお使いのテレビと違うチャンネルに設定された放送局は、リモコンボタンの放送局割り当てを変えて使うと便利です。

1 「**クイック**」を押し、[受信機能設定] を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

クイック

2 [受信設定] を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

3 [チャンネル設定] を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

4 [リモコンボタン割り当て] を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

5 割り当てを変更したいリモコン番号を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

6 割り当てたい放送局を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

7 [完了] を**方向ボタン**（▶）で選び、「**決定**」を押す

8 「**クイック**」を押して、メニューを消す

お知らせ

- 右記の「チャンネルを設定し直す」を行うと、この設定内容は消去されます。

チャンネルを設定し直す

自宅以外などふだんと違う場所でお使いのときは、その地域の放送が受信できるよう、チャンネルを設定し直してください。

チャンネルを設定し直すと、番組表やチャンネルに関するデータが初期化されます。

1 「**クイック**」を押し、[受信機能設定] を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

メニューが表示されます。

2 [受信設定] を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

3 [チャンネル設定] を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

4 [チャンネルスキャン] を**方向ボタン**（▲/▼）で選び、「**決定**」を押す

5 [都道府県域] で「**決定**」を押したあと、**方向ボタン**（▲/▼）でお住まいの地方を選び、「**決定**」を押す
[開始] を**方向ボタン**（▶）で選び、「**決定**」を押す

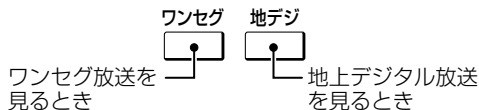
受信できる放送（地上デジタル放送/ワンセグ放送）のスキャンが始まります。
スキャンが終わるまでしばらくかかります。

6 「**クイック**」を押して、メニューを消す

テレビを見るときは、「入力切換」をくり返し押して、[地デジ]（ワンセグ放送受信時は [ワンセグ]）モードに切り換えるか、番号ボタン（1 ～ 12）を押してテレビを選局してください。

地上デジタル放送／ワンセグ放送を切り換える

■ リモコンで切り換える

リモコンの「**地デジ**」「**ワンセグ**」を押して切り換えます。

■ 本体のボタンで切り換える

本体の「**放送切換**」をくり返し押して、放送の種類を切り換えます。

チャンネルを切り換える

「チャンネル（∧/∨）」または番号ボタン（1 ～ 12）で選局する

地上デジタル放送では、1チャンネル分の周波数で最大3番組までを放送することができます。これらの番組（マルチチャンネル）は、「チャンネル（∧/∨）」で選局してください。

お知らせ

- 選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。
- 付属のワンセグ用アンテナを使うときは、アンテナ自体を動かしてみて、受信状態が良くなるように調整してください。（電波の弱い地域や障害物のある場所などでは、受信状態が不安定になります。）

音量を調節する／音を一時的に消す

「**音量**」を押す

音量バーが画面に表示されます。

＋：音量を上げる

－：音量を下げる

消音するには、「**消音**」を押します。
もう一度「**消音**」を押すか、「**音量**」を押すと消音が解除されます。

番組表を表示する

1 「番組表」を押す

各局の放送予定の一覧（番組表）が表示されます。

例）

番組表

ここに操作の説明が表示されます。

- 「**戻る**」を押すと、視聴中の番組に戻ります。
- 方向ボタンで番組表内を移動できます。（現在放送されている番組以外は、番組表から番組を選んで見ることはできません。）
- 番組を選んで「**決定**」を押すと、選んだ番組の詳細情報が表示されます。「**戻る**」を押すと、番組表に戻ります。
- 現在放送中の番組を番組表で選んで「**決定**」を押すと番組情報が表示され、さらに「**決定**」を押すと、選んだ番組のテレビ画面になります。
- 番号ボタンの「**2**」を押すと翌日の番組表へ、「**1**」を押すと前日または現時刻の番組表へ切り換わります。最大約8日先までの番組表を表示できます。（地上デジタル放送のみ）
- 「**3**」をくり返し押すと、番組表の文字表示を拡大・縮小します。
- 「**4**」を押すと、番組表メニューが表示されます。

項目名	方向ボタン（▲/▼）で項目を選び、「決定」を押す
番組記号一覧	番組表で使われている記号の一覧を表示します。「戻る」を押すと番組表へ戻ります。
番組表取得	番組表を最新の状態に更新します。「決定」を押すと開始します。
代表チャンネル/マルチチャンネル	地上デジタル放送では１チャンネル分の周波数で最大３番組までを同時に放送することができます。 １チャンネル分の番組欄の表示を、３番組（マルチチャンネル）または、代表の１番組（代表チャンネル）に切り換えます。

2 「番組表」を押して、番組表を消す

お知らせ

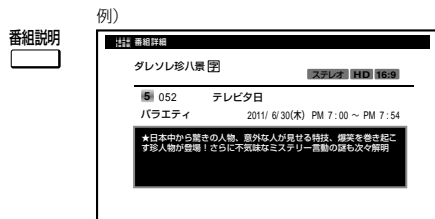
- 初めて視聴するときには、番組表が表示されないチャンネルがあります。その場合は、上の［番組表取得］をしてください。
- ワンセグ放送受信時は、ワンセグ放送の番組表を表示します。地上デジタル放送の番組表とは表示内容が異なります。

番組情報を見る

番組を見ているときに、「番組説明」を押す

現在視聴している番組の情報が表示されます。

番組説明

例）

「戻る」または「番組説明」を押すと、表示が消えます。

お知らせ

- 番組表情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。

音声を切り換える

音声多重放送番組の視聴中に、音声を切り換えます。

「音声切換」をくり返し押して、聞きたい音声を選ぶ

字幕を切り換える

字幕のある番組の視聴中に、字幕の表示／非表示を切り換えます。

字幕

「字幕」をくり返し押して、見たい字幕を選ぶ

お知らせ

- 表示する字幕は 55 ページの[字幕切換] で設定できます。
- 字幕を表示中に一部の操作をすると、字幕表示は消えます。通常画面にもどると、ふたたび字幕を表示します。

映像を切り換える

別の映像が含まれている番組の視聴中に、映像を切り換えます。

クイック

「クイック」を押して、映像の切り換えを設定する

設定の内容は 55 ページの [映像切換] をご覧ください。

映像メニューを選ぶ

お好みの映像に切り換えます。

映像メニュー

「映像メニュー」をくり返し押す

[あざやか] [標準] [映画] [お好み調整] が選べます。

各映像メニューの内容は 51 ページの[映像メニュー] をご覧ください。

画面サイズを選ぶ

映像の画面サイズを選びます。

例えば、ワンセグ放送をそのままの画面サイズで見る場合、画面が粗くなるため、画面サイズを小さくして見ると見やすくなります。

画面サイズ

「**画面サイズ**」をくり返し押して、画面サイズを選ぶ

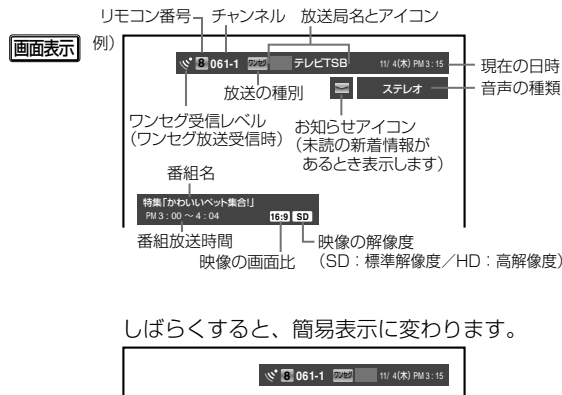
地上デジタル放送受信時	画面サイズは変更できません。
ワンセグ放送受信時	100%：画面いっぱいに表示します。 50%：約50%の画面サイズに縮小します。 25%：約25%の画面サイズに縮小します。
本機に接続した外部機器からの映像	フル：16：9の映像を画面内に表示します。 ノーマル：4：3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。 ズーム：映像を拡大して表示します。

お知らせ

- 映像の種類によっては、表のとおりにならないことがあります。お好みにあわせて画面サイズを切り換えてください。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで画面サイズのモード切換機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

チャンネル、放送局名などを表示する

「画面表示」を押す

しばらくすると、簡易表示に変わります。

もう一度「画面表示」を押すと、表示が消えます。

映像を静止させる

映像の動きを止めることができます。

静止

「静止」を押す

- 映像が静止します。
- 解除するときは、「静止」をもう一度押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- 選局操作をすると、静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで静止画を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面を消して音声だけを聞く

「消画」を押す

- 確認メッセージが表示されます。「はい」を選び「決定」を押すと、画面が消えます。
- 画面を戻すには、「消画」をもう一度押します。
（「消画」以外で消画を解除できるボタンもあります。）

設定した時間後にテレビをつける

● **準備**

現在選んでいるチャンネルと音量で、設定した時間後にテレビがつきます。あらかじめ、チャンネルと音量を選んでおいてください。

1 「オンタイマー」を押す

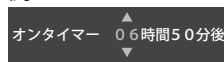
オンタイマー

ボタンを押すたびに、設定画面と「オフ」が切り換わります。
オンタイマー機能を働かせないときは、「オフ」にしておいてください。

1 何時間何分後にテレビをつけるか設定します。

この例では、6時間50分後にテレビがつきます。

例

オンタイマー　▲06▼時間50分後

方向ボタン（▲/▼）で何時間後を設定（00～23時間後）

2 方向ボタン（▶）で“分”の場所へ移動し、方向ボタン（▲/▼）で何分後を設定する（00 ～ 59分後）

3 「決定」を押す

2 「電源」を押して本機の電源を切る

設定した時間後にテレビがつきます。

お知らせ

- オンタイマー機能が一度働いたあとは、オンタイマー機能がオフになります。機能を使うたびに設定してください。

設定した時間後にテレビを切る

1 「オフタイマー」を押す

オフタイマー

ボタンを押すごとに、電源が切れる時間が変わります。

オフ→30分後→60分後→90分後→120分後→オフ

2 「決定」を押す

設定した時間後に電源が切れます。

お知らせ

- オフタイマーの時間設定をしたあとに、オフタイマー機能を解除したい場合は、［オフタイマー　オフ］を選んでください。
- 設定後、「オフタイマー」を押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。さらにボタンを押すと、オフタイマーの時間が再設定されます。
- 設定した時刻になる前に、電源を切ったりすると、オフタイマーの設定が取り消されます。

バッテリーパックを使ってテレビを見る

付属のバッテリーパックを使って、テレビを動作させます。電源コンセントがない場所や停電のときに便利です。
また使用例として、使用電力量が低い夜間にバッテリーパックを充電（53 ページの［夜間充電］）し、使用電力量が高くなる昼間の時間にバッテリーパックでのテレビ動作に切り換えてお使いになれます。
バッテリーパックについては、32 ～ 34 ページをご覧ください。

- バッテリーパックが充電されていることを確認してください。（33 ページ）
  バッテリーパックが取り付けられていなかったり、バッテリーパックの残量が少ないときには、バッテリーパックの動作に切り換わりません。

1 「ピークシフト」を押す

ピークシフト

壁コンセントからのACアダプターでの電源供給から、充電されたバッテリーパックからの電源供給に変わります。

ボタンを押すたびに、壁コンセントとバッテリーパックからの電源供給が切り換わります。

：**壁コンセントからの電源供給時**

：**バッテリーパックからの電源供給時**

お知らせ

- 充電されたバッテリーパックを使い切ったときには、自動的に電源が切れます。
- バッテリーパックでの動作時は、壁コンセントからの電源での動作時よりも画面が暗くなります。
- 本機の電源表示が待機または充電中の状態で「ピークシフト」を押すと、電源がはいり、バッテリーパックで動作します。

節電モードの設定

節電モードにすることで消費電力が抑えられ節電になります。

1 「節電」をくり返し押す

節電

ボタンを押すたびに節電モードが切り換わります。

オン：　節電モードになります。（画面が暗くなる）

オフ：　通常の動作になります。（画面が明るくなる）

お知らせ

- 壁コンセントからの電源での動作とバッテリーパックでの動作では、「節電」を押したときの画面の明るさは異なります。

データの自動受信について

地上デジタル放送の番組表や番組情報のデータ、および本機のソフトウェアのバージョンアップ用データは、放送電波で送られてきます。これらのデータは、本機の電源を切って待機状態（電源表示が赤色またはオレンジ色に点灯）で、自動的に本機が取得をします。バッテリーパック充電中は、一時的に充電を止めてデータを取得します。

長時間の使用のくり返しなどによって本機の待機状態が極端に少ないと、データの取得が行われず、番組表の表示が不完全になることがあります。また、電波や放送局および本機の状態によって、データ取得が完了しない場合もあります。このときは、電源を切って本機を待機状態にし、約１日以上放置してみてください。

- お買い上げ直後や電源を入れた直後などには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。

ソフトウェアのバージョンアップについて

本機には、本機の機能を実現するためにソフトウェアが搭載されています。東芝が本機のソフトウェアを書き換えて更新することによって機能の改善などを行うことがあります。

本機では、放送局がデジタル放送の電波の中にソフトウェアを入れて送信し、それをダウンロードすることによって、バージョンアップを行います。

ダウンロードには、特に操作は必要ありません。本機が電波を検知して、自動的に行います。

自動ダウンロードは、本機の電源が「待機状態」（本体の電源表示が赤色またはオレンジ色で点灯）のときにだけ行われます。

バージョンアップについてくわしくは、以下の当社ホームページをご覧ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/support/

機能設定

各種の機能や映像・音声などをお好みで調節・設定できます。

機能設定の方法

各種の機能や映像・音声などをお好みで調節・設定できます。

1 「クイック」を押す

クイック

2 設定の種類を方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」を押す

3 項目を方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」を押す

4 次ページ以降の表の説明を参照して、項目の内容を方向ボタンなどで設定し、「決定」を押す

他の項目を設定するときは、「戻る」を押して手順2～4をくり返します。

5 「クイック」を押す

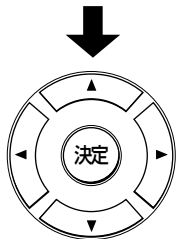
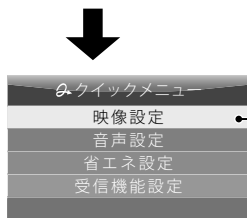
設定画面が消え、設定は終わりです。

・メニュー操作を中断・終了するときは、「終了」を押します。

設定、調節内容と説明ページ	設定、調節内容と説明ページ
映像設定…………… 51 ページ	省エネ設定…… 53 ページ
音声設定…………… 52 ページ	受信機能設定… 54 ページ

映像の設定

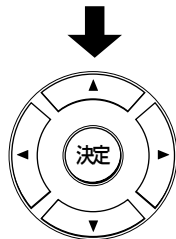
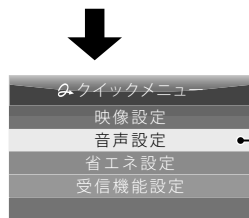
「クイック」を押して、方向ボタン(▲/▼)で[映像設定]を選び、「決定」を押す

以下の設定内容の表現の一部は例です。ご自分のお好みに合わせて設定してください。

各項目の選択と決定をします。

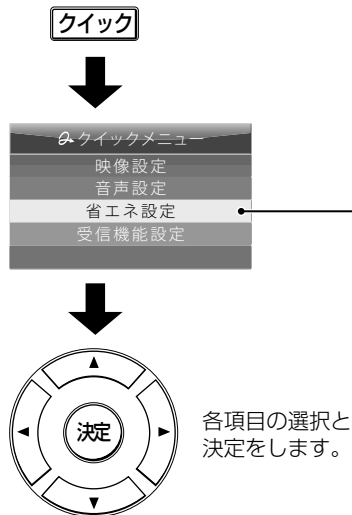
設定項目	内容・設定・手順
映像メニュー	[映像メニュー]で「決定」を押し、◀/▶で設定項目を選択
あざやか	日中の明るいリビングで迫力ある映像を楽しむ場合
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむ場合
映画	暗くした部屋で映画館のような雰囲気で楽しむ場合 (暖かみのある色合いが再現されます)
お好み調整	▲/▼で項目選択、◀/▶で調整
黒レベル	画面が黒っぽくなる(0) ～ (100)白っぽくなる
ユニカラー	コントラストが低くなる(0) ～ (100)高くなる
色の濃さ	色の濃さが淡くなる(0) ～ (100)濃くなる
色合い	色あいが紫っぽくなる(0) ～ (100)緑っぽくなる
シャープネス	やわらかい映像になる(0) ～ (100)くっきりした映像になる
ダイナミックNR	映像のざらつきやちらつきを減らします。 **[オフ] [弱] [中] [強]** • 強くかけると残像が目立つ場合があります。 • 映像によっては効果がわかりにくい場合があります。

音声の設定

「クイック」を押して、方向ボタン（▲/▼）で［音声設定］を選び、「決定」を押す

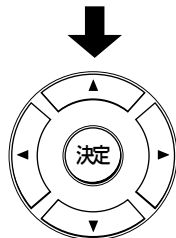
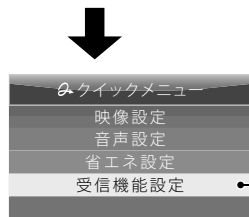
以下の設定内容の表現の一部は例です。ご自分のお好みに合わせて設定してください。

設定項目	内容・設定・手順
音声メニュー	▲/▼で［音声メニュー］を選び「決定」を押し、◀/▶で項目を選択
標準	一般的な番組を楽しむ場合
音楽	おもに音楽番組を楽しむ場合
映画	おもに映画番組を楽しむ場合
スポーツ	おもにスポーツ番組を楽しむ場合
お好み調整	▲/▼で項目選択、◀/▶で調整
高音	高音が弱くなる（0）～（100）強くなる
低音	低音が弱くなる（0）～（100）強くなる
バランス	▲/▼で［バランス］を選び「決定」を押し、◀/▶で調整 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。 左を強く（L100 R0）～（L50 R50）左右同じ～（L0 R100）右を強く
サラウンド	▲/▼で［サラウンド］を選び「決定」をくり返し押す ステレオ音声を自然な広がりを持った音声で出力します。 **オン**：サラウンド機能が働きます。 **オフ**：サラウンド機能が働きません。

クイックメニュー
映像設定
音声設定
省エネ設定
受信機能設定

各項目の選択と決定をします。

設定項目	内容・設定・手順
番組情報取得設定	▲/▼で項目を選び「決定」をくり返し押す **オン**： 電源が切り(待機状態)またはバッテリーパック充電中のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。 **オフ**： 番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されない場合があります。
無操作自動電源オフ	▲/▼で項目を選び「決定」をくり返し押す **オン**： テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が切れ、待機状態または充電中になります。 **オフ**： テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。
オンエアー無信号オフ	▲/▼で項目を選び「決定」をくり返し押す **オン**： 放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れ、待機状態または充電中になります。 **オフ**： 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。 ※ 本機に接続している外部機器からの入力を選んでいるときは機能しません。
外部入力無信号オフ	▲/▼で項目を選び「決定」をくり返し押す **オン**： 外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れ、待機状態または充電中になります。 **オフ**： 無信号状態が続いても電源は「入」のままです。
夜間充電	▲/▼で項目を選び「決定」をくり返し押す **オン**： 夜の10時から朝の9時までの間で自動的にバッテリーパックを充電します。(本機の電源が切れて待機状態のとき) **オフ**： 時間帯に関係なく、本機の電源が切れて待機状態のときにバッテリーパックを充電します。

受信機能の設定

「クイック」を押して、方向ボタン（▲/▼）で［受信機能設定］を選び、「決定」を押す

クイックメニュー
映像設定
音声設定
省エネ設定
受信機能設定

各項目の選択と決定をします。

設定項目			内容・設定・手順
受信設定			［受信設定］で「決定」を押し、▲/▼で設定項目を選択
	チャンネル設定		▲/▼で設定項目を選び、「決定」を押す
		チャンネルスキャン	移動した場合や、放送局の開局などで放送チャンネルに変更があった場合はこの項目を選び、チャンネルを設定し直します。（40 ページ）
		リモコンボタン割り当て	リモコンの番号ボタンに割り当てる放送局を設定します。（40 ページ）
	アンテナ設定		アンテナの受信レベルを表示します。 **チャンネル**：「決定」を押したあと、▲/▼で伝送チャンネルを選び、「決定」を押すと、受信レベルを確認できます。（表示されている数値は目安です。） **ビープ音**：受信レベルによって音のパターンが変化します。「決定」を押したあと、▲/▼で設定します。 **オン**/**オフ** **地上デジタル受信レベル**：地上デジタル放送の受信レベルを表示します。 **ワンセグ受信レベル**：ワンセグ放送の受信レベルを表示します。
	B-CASテスト		B-CASカードが正常に動作しているか確認します。

（受信機能設定のつづき）

設定項目			内容・設定・手順
お知らせ			［お知らせ］で「決定」を押し、▲／▼で項目を選択
	本機からのお知らせ		受信機のソフトウェアのアップデートなどに関するお知らせが表示されます。お知らせが１件もない場合は、情報がないことを示すメッセージが表示されます。閉じるときは「決定」を押します。
	放送局からのお知らせ		地上デジタル放送に関わるお知らせがある場合、選んで「決定」を押すと、お知らせが表示されます。閉じるときは「決定」を押します。
機器設定			［機器設定］で「決定」を押し、▲／▼で項目を選択
	機器情報		本機のソフトウェアのバージョンとB-CASカードの情報を確認できます。（登録番号を確認するための項目で、設定の変更はできません。）
	デジタル放送設定		▲／▼で項目を選び、「決定」を押して各項目を設定します。
		テレビ起動時の放送	最初に地上デジタル放送とワンセグ放送のどちらを受信するかを設定します。 **地上デジタル**／**ワンセグ**
		字幕切換	字幕放送の場合に優先して表示させる字幕を設定します。（設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。） **オフ**（字幕を表示しません）／**第１言語**／**第２言語**
		映像切換	マルチビュー放送の場合に優先して表示させる映像を設定します。 **オフ**（通常の放送）／**映像１**／**映像２**

（受信機能設定のつづき）

設定項目	内容・設定・手順
機器設定	[機器設定] で「決定」を押し、▲/▼で項目を選択
デジタル放送設定	▲/▼で項目を選び、「決定」を押して各項目を設定します。
文字スーパー	地上デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。文字スーパーの表示/ 非表示を選べます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、本機で表示する言語を第１言語、第２言語から選択できます。（設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。） **オフ**（非表示）／**第１言語**／**第２言語**
緊急放送自動切換	災害などの緊急時に緊急警報放送が放送されたとき、自動的に緊急警報放送に切り換わるように設定できます。地上デジタル放送受信時のみ、この機能が働きます。 **オン**（切り換わります）／**オフ**（切り換わりません）
テレビの設定初期化	[受信機能設定] で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。（ [映像設定]、[音声設定]、[省エネ設定] で設定した内容は、お買い上げ時の状態には戻りません。） [はい] を選び、「決定」を押すと受信機能に関する設定がすべて初期化されます。[テレビのはじめて設定] の画面（39 ページ）に戻ります。

接続

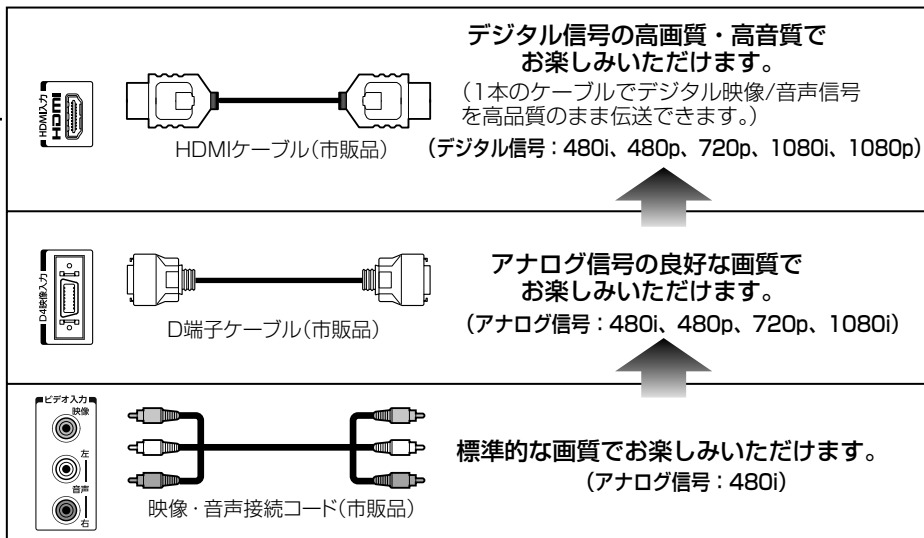
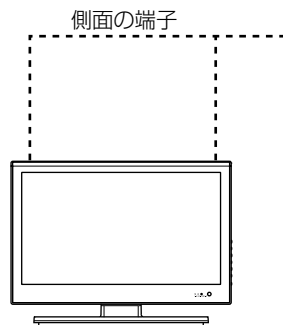
外部機器を接続して楽しめます。

- **接続を始める前に**
- **HDMI端子付き外部機器と接続する**
- **D端子付き外部機器と接続する**
- **映像・音声（黄色、白色、赤色）端子付き外部機器と接続する**
- **ヘッドホーンを使う**

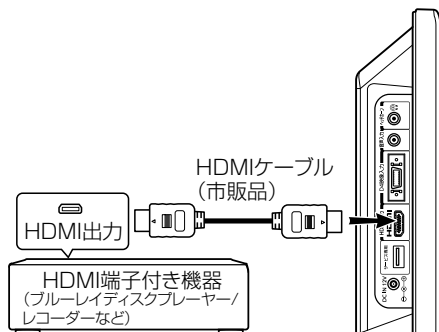
接続を始める前に

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続をしてください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

本機に接続する外部機器の出力端子と画質について

本機と接続する外部機器の背面などにある、映像や音声の出力端子をご確認ください。映像をよりきれいにご覧いただいたり、ハイビジョン映像をそのまままきれいな画質でお楽しみいただくには、HDMI出力に対応した外部機器が必要になります。**接続する外部機器がHDMI出力に対応しているときは、本機のHDMI端子と接続することをおすすめします。**本機と接続する外部機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

HDMI 端子付き外部機器の映像を、本機の画面で見ることができます。本機の HDMI 入力端子*は 480i、480p、720p、1080i、1080p に対応しています。

＊HDMIとは、デジタル家電／ AV 機器間をデジタル信号でつなぐことができるインターフェイス（接続システム）です。映像と音声の両方の信号に対応していますので、1 本のケーブルだけで接続することができます。

1 HDMI 端子付き外部機器を、本機の HDMI 入力端子に接続する

2 「入力切換」をくり返し押して、本機画面の［HDMI］を選ぶ

（入力切換） 接続したHDMI端子付き外部機器の映像を本機の画面で表示する状態（HDMI入力モード）になります。

- 「入力切換」で選択後、「決定」を押すと、すぐにモードが切り換えできます。

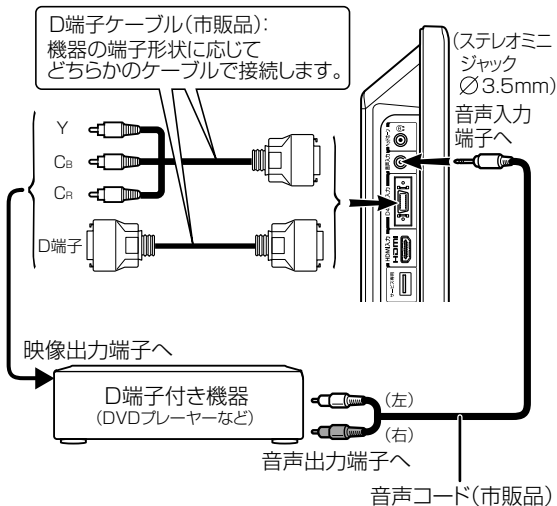
お知らせ

- 本機に接続した機器の取扱説明書もよくお読みください。
- HDMIの信号が認識されない場合は、接続した外部機器の電源を入れ直してみるか、HDMI ケーブルを接続し直してみてください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ（HDMI）の表示があるケーブルをお使いください。
  1080p出力などは、ハイスピード（High Speed）HDMIケーブルをご使用ください。（標準HDMIケーブルでは正常に動作しないことがあります。）
- HDMIは新しい技術です。今後、HDMIの技術が進歩した場合、本機では対応できなくなることがあります。
- DVI機器との接続には対応していません。
- DVDなどの再生時に、音声の出始めが少し途切れることがありますが、これはデジタル信号の判定のためで故障ではありません。

D端子付き外部機器と接続する

D 端子付き外部機器の映像を、本機の画面で見ることができます。本機の D 端子は D4 端子（480i、480p、720p、1080i）に対応しています。

1 D端子付き外部機器を、本機のD4映像入力端子に接続する

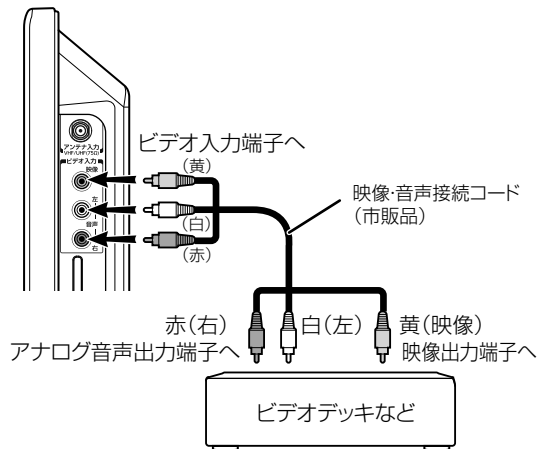
（音声用コードも接続が必要です。）

2 「入力切換」をくり返し押して、本機画面の[D端子]を選ぶ

（入力切換） 接続したD端子付き外部機器の映像を本機の画面で表示する状態（D端子映像入力モード）になります。

- 「入力切換」で選択後、「決定」を押すと、すぐにモードが切り換えできます。

映像・音声（黄色、白色、赤色）端子付き外部機器と接続する

ビデオデッキなど一般的に広く使われているアナログ端子で 480i の信号に対応しています。

1 映像・音声端子付き外部機器を、本機のビデオ入力端子に接続する

2 「入力切換」をくり返し押して、本機画面の［ビデオ］を選ぶ

（入力切換） 接続した外部機器の映像を本機の画面で表示する状態（ビデオ入力モード）になります。

- 「入力切換」で選択後、「決定」を押すと、すぐにモードが切り換えできます。

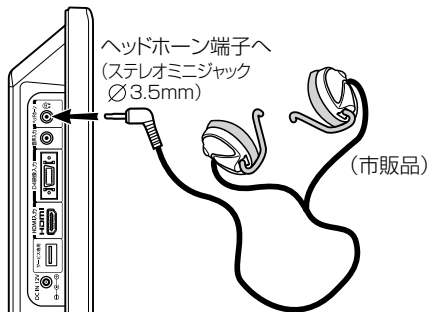
お知らせ

- ビデオ入力モードでは、映像の画面形状が変わることがあります。
- 接続したビデオデッキやゲーム機などから規格外の信号が入力されると、正しい映像にならないことがあります。例えば、画面の標的を撃つシューティングゲームは、液晶画面の色表示の特性上、使用できない場合があります。

ヘッドホーンを使う

⚠注意

- **ヘッドホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎない**
  耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

本機には、ステレオミニジャック(∅3.5mm)のヘッドホーンが接続できます。

- ヘッドホーンの抜き差しは、誤動作防止のため、本機の電源を切ってから行ってください。
- 接続するときは、いったん音量を下げてから、お好みの音量に調節してください。
- ヘッドホーンが接続されているときは、本体のスピーカーから音声は出力されません。
- モノラルイヤホーンを接続した場合は、左音声だけが聞こえます。

その他

お使いになるうえで役立つ情報です。

- 困ったときは
- 本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット
- お手入れについて
- 仕様
- ライセンスおよび商標などについて
- 保証とアフターサービス

困ったときは

アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

	症状	原因	処置
電源・バッテリー	電源がはいらない。	• ACアダプターが抜けている。	• ACアダプターをしっかりと差し込む。
		• 電源が切れている。	•「電源」ボタンを押して電源を入れる。
	画面が自動的に消えた。	• オフタイマー機能が働いた。	• 電源を入れ直す。
	バッテリーパック使用時に電源がはいらない。	• バッテリーパックがはずれている。	• バッテリーパックを取り付ける。
		• バッテリーパックが充電されていない。	• バッテリーパックを充電する。
	バッテリーパックが充電できない。	• バッテリーパックの状態が満充電に近い。	• バッテリーパックの残量が減ってから充電する。
テレビ	放送が受信できない。	• B-CASカードが正しく挿入されていない。	• B-CASカードを正しい向きに入れる。
		• 入力切換がテレビを見るモードになっていない。	• 本体またはリモコンの「入力切換」で、テレビモード[地デジ]([ワンセグ])にする。またはリモコンの番号ボタンでテレビを選局する。
		• アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしている。	• アンテナ線を確認して正しく接続する。 ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。
		• アンテナ線プラグの芯線が曲がっている。	• 確認して、まっすぐにする。(折らないようにご注意ください)
		• アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしている。	• アンテナ線を交換する。
		• アンテナが正しい方向に向いていない。	• アンテナを正しい方向に向ける。(販売店にご相談ください)
		• レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続している。	• アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。
			• アンテナ線を分配して接続する。
		• アンテナにブースター(増幅器)がつけられている状態で停電した。	• 電力が復帰するまで待つ。
			• バッテリーパックを使って、ワンセグ放送をみる。
		• 地上デジタル放送に適合したUHFアンテナを使用していない。	• 地上デジタル放送に対応したアンテナに接続する。(お買い上げの販売店にご相談ください)
		• 地上デジタル放送やワンセグ放送の受信レベルが推奨値以下になっている。	• クイックメニューの[受信機能設定][受信設定]の[アンテナ設定]で地上デジタル放送やワンセグ放送の受信レベルを確認する。 ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。
		• チャンネルをスキャンしていない。	• チャンネルスキャンをする。39 40 ページ

	症状	原因	処置
テレビ	放送が受信できない。	• お住まいの地域が地上デジタル放送の受信可能エリアではない。	• 地上デジタル放送が行われているかを最寄りの放送局にお問い合わせください。
		• 共聴システムを使用していて、共聴システムが地上デジタル放送(パススルー方式)になっていない。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります。)
	一部の放送が受信できない。	• 地上デジタル放送が行われていない。	• 地上デジタル放送が行われているかを最寄りの放送局にお問い合わせください。
	受信できなくなった放送局が番組表などから消えない。	—	• チャンネルスキャンをする。40 ページ
	字幕が表示されない、または二重音声などが機能しない。	• 視聴している番組が字幕表示、二重音声などに対応していない。	• 対応していない番組の場合は、字幕設定、音声設定は機能しません。
	番組表が表示されない、またはところどころ抜けている。	• 番組表情報が取得できていない。	• 番組表メニューから[番組表取得]をする。42 ページ
			• 電源を切って待機状態にして約1日以上放置してみる。ただし、電波や、放送局および本機の状態によっては、情報取得が完了しない場合もあります。このときは、待機状態にする時間帯を変えて再度試してみてください。
			• アンテナ線が接続されているか確認する。
	映像が乱れる・止まる。	• アンテナの向きがずれている、アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。	• アンテナの向き、アンテナ線の接続に問題がないか確認する。
	画面にはん点が出る。	• 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が考えられます。	• アンテナ線の位置を原因妨害源(道路など)から離れた位置に移動する。
	画面に縞模様がでる。	• 近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。	• アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離す。
	音声が出ない。	• ボリュームが小さすぎる。	• 「音量」ボタンで調節する。
		• 消音状態になっている。	• 「消音」ボタンを押して、消音を解除する。
	音声は出ているが、映像が出ない。	• 消画状態になっている。	• 「消画」ボタンを押して、消画を解除する。

困ったときは(つづき)

	症状	原因	処置
テレビ	電源を入れたときやチャンネルを切り換えたときに、すぐに映像が表示されない。	• 受信した信号を画面に表示するための処理を行っており、チャンネルの切り換えに数秒かかります。	—
	引越しをしたら受信できなくなった。	• チャンネルスキャンをしていない。	• もう一度チャンネルスキャンをする。40 ページ
外部機器	接続した外部機器からの映像が出ない。	• 外部機器が正しく接続されていない。	• 確認して正しく接続する。
		• 外部機器の電源がはいっていない。	• 外部機器の電源を入れる。
		• 接続した外部機器の入力に切り換えられていない。	• 本体またはリモコンの「入力切換」ボタンで、外部機器を接続した入力端子を選ぶ。
リモコン	操作ボタンを押しても動作しない。	• 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	• 電源を入り切りしてみる。または、電源プラグを抜き、1分以上待ってからもう一度差し込む。
	リモコンが動かない。	• リモコンが受光部に向いていない。	• リモコンの送信部を本機の受光部に向けて操作する。
		• リモコンと受光部の間が遠すぎる。	• 約5m以内のところで操作する。
		• リモコンの電池が消耗している。	• 電池を交換する。
		• リモコンの電池の向きが違っている。	• 表示されている極性(+、−)の向きを確認する。
		• 本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	• 本体を直射日光などを避けるような場所に置く。
本体	本機内部から「カチッ」という音がする。	• 電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。	—
	液晶パネルから「ジー」という音がする。	• 液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。	—
	キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする。	• 部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。	—
	使用していないのに本体が温まる。	• 使用していないときでも、番組情報取得などの動作をしているときは、温度が多少上昇します。	—

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

●「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されることがあり、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されなかったりすることがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度とは異なることがあります。
●リフレッシュレートが24/70/72/75Hzの信号は60Hzに変換して表示されます。
●下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨しています。
●本機はDVI端子には対応していません。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレートまたは垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 /27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 /31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

⚠注意

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックをはずす**

感電の原因となることがあります。

■ ベンジン・アルコールなどは使わない

● ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ キャビネットや操作パネルのお手入れ

● キャビネットに付着しているゴミやほこりを取り除いてから、柔らかいきれいな布で軽くふき取ってください。硬い布やよごれた布でふいたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきますのでご注意ください。

● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ 画面（液晶パネル）は特殊な加工をしています

● 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■ 画面（液晶パネル）は水ぶきをしない

● 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布（OA機器清掃用の布）で軽くふいてください。

● アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

項目		仕様
種類		地上デジタルハイビジョン液晶テレビ
形名		19P2
受信機型サイズ		19V
電源		入力端子DC12V（定格電流：3A（最大：バッテリーパック充電時）） AC100V 50/60Hz（付属のACアダプター使用時）
消費電力		30W 電源［待機］時　0.4W （機能動作時　12W）※1
年間消費電力量［標準］時		33kWh/年
区分名		DK （FHD以外、液晶ノーマル、付加機能なし）
スタンドを含む外形寸法（ ）は本体のみ	幅	45.4cm（45.4cm）
	高さ	34.2cm（29.5cm）
	奥行	20.4cm（5.5cm）
スタンドを含む質量※2（ ）は本体のみ		5.0kg（4.2kg）
液晶画面	画面寸法	幅 41.0cm、高さ 23.0cm、対角 47.0cm（19V型）
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス
	画素数	水平1366×垂直768
受信チャンネル		地上デジタル：VHF（1 ～ 12）、UHF（13 ～ 62）、CATV（C13 ～ C63）
スピーカー		6.8cm×2.5cm×2個
音声出力		実用最大出力 2W+2W （総合音声出力 4W）（JEITA）

※1　電源［待機］時に番組情報を取得しているときの消費電力です。
※2　バッテリーパック（400g）を含む質量です。

入力・出力端子	HDMI入力	HDMIコネクタ Type A端子（19ピン）
	ビデオ入力	映像：1V(p-p)、75Ω、同期負（ピンジャック） 音声：200mV(rms)、22kΩ以上（ピンジャック）
	D4映像入力	14ピン、1.27mmピッチ Y:1V(p-p)、P_B/C_B、P_R/C_R：0.7V(p-p)
	音声入力	D4入力用アナログ音声入力 200mV(rms)、 22kΩ以上（口径3.5mmステレオミニジャック）
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω～32Ω
使用環境条件		温度：0℃～35℃、相対湿度20%～80%（結露のないこと）
角度調整範囲		左右：不可　上下：不可
付属品		「付属品」（5 ページ）をご覧ください。

デジタル放送で運用される各種サービスへの本機の対応は、以下のとおりです。

ケーブルテレビ方式	パススルー
字幕放送	○
データ放送	×
双方向（データ放送）	×
EPG（電子番組表）	○

● 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
● 受信機型サイズ（19Vなど）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
● このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
（This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.）
● 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
● 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
● イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは異なります。
● 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
● 区分名：「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」では、テレビの画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分名称をいいます。
● 年間消費電力量：年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて、1日あたり4.5時間の動作時間/19.5時間の待機時間（電子番組表取得時間を含む）で算出した、1年間に使用する電力量です。
● 「JIS C 61000-3-2 適合品」- JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第3-2部：限度値一高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
● 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
● 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。（故障ではありません。）
※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
（It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.）

詳細は以下のURLをご覧ください。

http://www.toshiba.co.jp/dm_env/dm/label.htm#jmoss

ライセンスおよび商標などについて

- HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE® HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。

- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。